

産業大動脈の機能向上



アジアハイウェイ1号 首都プノンペンから国内第
および南部経済回廊の一 2の都市バットンバンを経
部を形成するカンボジアで、タイ国境にあるポイペ
の国道5号線改修事業。トマデを結ぶ同国基幹道路

で、メコン地
域の産業大動
脈としての役
割が期待され
ている。

延長366
キを9工区に
分けて改修。
2車線(片側
1車線)を4
車線(2車線)
に拡幅し、ア
スファルト舗
装や中央分離
帯、ガードレ
ールの設置な
どにより走行

BPP区間の
橋梁新設

国道5号線改修事業(バットンバン～ シソポン)コントラクトパッケージ1 (カンボジア)

性と安全性を向上させ、事
故防止や近隣住民の生活環
境改善に貢献する。内戦後
にアジア開発銀行(ADB)
が簡易舗装で整備した箇所
の劣化や幅員不足などによ
り危険な状態となってい
た。安全を確保し、国内・
国際物流の増加に対応す
るためには既存道路の改修が
不可欠だった。

鉄建建設・大有建設が
施工した「北工区コントラ
クトパッケージ(CP1)」
はバットンバン、シソポン
間延長84キのうち、バイパ
ス(BP)区間に当たる市
街地の迂回(うかい)路
(延長23・92キ)を含む計
46・27キを、2017年2
月から21年9月までの約4
年半かけ整備した。カンボ
ジア公共事業運輸省が発注
し、設計を片平エンジニア



拡幅区間の市街地

リ+基層100ミ)、橋梁
新設工1橋梁(PCI桁+
RCスラブ)、橋梁架け替え
工4橋梁(PCホロー桁)、
排水工(ボックスカルバー
ト、パイプカルバートほ
か)、付帯工(街路灯、ガ
ドレール、路面標示ほか)。
4車線への拡幅やアスフ
ルト舗装などを中心とし
た北工区CP1の整備に伴
い、従来片道2時間を要し
ていた同工区の移動は約半
分の時間に短縮でき、発注
者や設計者から高い評価を
得た。

リング・インターナシヨナ
ル・オリエンタルコンサル
タンツグローバル・クメ
ルコンサルタントエンジニ
アリングが担当した。国
際協力機構(JICA)の
有償資金協力事業になる。
工事概要は、盛り土・路
床工事150万立方(路
床厚1000ミ)、路盤工
64万立方(上層路盤25
0ミ+下層路盤350ミ)、
舗装工13万立方(表層50
ミ+基層100ミ)、橋梁
新設工1橋梁(PCI桁+
RCスラブ)、橋梁架け替え
工4橋梁(PCホロー桁)、
排水工(ボックスカルバー
ト、パイプカルバートほ
か)、付帯工(街路灯、ガ
ドレール、路面標示ほか)。
4車線への拡幅やアスフ
ルト舗装などを中心とし
た北工区CP1の整備に伴
い、従来片道2時間を要し
ていた同工区の移動は約半
分の時間に短縮でき、発注
者や設計者から高い評価を
得た。

施工中は新型コロナウイ
ルスの流行や洪水など不可
抗力によって難しい局面も
あったが、現地スタッフや
協力会社と知恵を出し合
い、創意工夫を凝らして無
事竣工できた。カンボジア
の発展に貢献するため現地
スタッフの育成や技術継承
にも注力した。

